

ケースデンキグループ環境方針

ケースデンキグループ（以下、当社グループ）は、気候変動等の環境課題を重要な経営課題の一つであると認識し、以下の方針に基づき環境課題への取り組みを推進し、中長期的な企業価値の創出と持続可能な社会の実現に貢献します。

1. 法令遵守

当社グループは、環境に関する国や地域の法規制を遵守するとともに、国連の持続可能な開発目標（SDGs）をはじめとする国際的な合意を尊重し、持続可能な社会の実現に貢献します。

2. マネジメント体制

当社グループは、環境課題を含むサステナビリティ関連課題については、株式会社ケースホールディングス（以下、当社）取締役、各グループ会社社長並びに当社各本部長で構成される「サステナビリティ委員会」において、当社取締役会において決定された対応方針のグループ全体での共有化・推進・進捗状況のモニタリングを行っております。当社取締役会は「サステナビリティ委員会」から対応や進捗などの報告を受け、サステナビリティ関連の取り組みを監督しており、当社グループは、このマネジメント体制によって環境課題への取り組みを推進します。

3. 環境課題への取り組み

① 気候変動への対応

当社グループは、自らの事業活動における温室効果ガス排出量を削減するとともに、サプライチェーン全体における排出量削減を推進し、パリ協定が定める 1.5°C 目標に整合した削減目標を定め、カーボンニュートラル社会の実現に貢献します。

- ・省エネルギーを推進するとともに再生可能エネルギーの利用を促進し、店舗をはじめとした事業所で使用する電力の 100% 再生可能エネルギー化を目指します。
- ・2050 年に当社グループおよびバリューチェーン全体の排出量を実質ネットゼロとすることを目標とし、その実現を目指します。
- ・省エネ性能の高い家電製品の普及を促進し、家庭における排出量の削減に貢献します。

- ・パリ協定が定める1.5°C目標に整合することを基本方針として、業界団体を通じて環境政策に参画します。また、気候変動を否定する活動や気候変動に関する規制に反対するロビー活動への資金提供を行いません。

② 資源の有効利用・循環型社会への対応

当社グループは、資源の有効利用と廃棄物の削減を通じて循環型社会の形成に貢献します。

- ・事業所から排出される廃棄物を適正に処理するとともに、再利用やリサイクル等、サーキュラーエコノミーの取り組みを推進します。
- ・家庭から排出される使用済みの家電製品を家電リサイクルや小型家電リサイクルにより適正に処理します。

③ 生物多様性・ネイチャーポジティブへの対応

当社グループは、生物多様性を含み、自然資本に関連する課題をバリューチェーン全体における重要な課題と認識し、依存・インパクトを分析するとともに適切な対応を行うことにより、昆明・モンテリオール生物多様性枠組みに整合したネイチャーポジティブの実現を目指します。

4. 環境意識の向上

当社グループは、本方針を全従業員および社外ステークホルダーに周知します。また、事業活動が環境に与える影響やエネルギー使用に関する課題と対策を共有することで、環境への意識向上を図ります。

5. 社会との連携・協力

当社グループは、環境課題に関するステークホルダーとのエンゲージメントを強化するとともに、イニシアティブへの賛同や業界団体の活動、環境政策への参画等を通じて広く社会と連携・協力して環境課題に取り組みます。

6. 情報開示

当社グループは、環境パフォーマンスや環境課題に関する情報を定期的に開示し、広く社会と共有します。

制定日：2026年3月18日

代表取締役社長執行役員 吉原 祐二